

## 2004 年度 委員会活動成果報告

(2005 年 3 月 15 日作成)

委員会名	工事監理の社会的役割に関する小委員会	主 査 名 : 江 口 禎
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築経済委員会	委員長名 : 嘉納 成男
設 置 期 間	2003年 4 月 ~ 2005年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	建築士の独占業務とされる工事監理は建物の欠陥をなくし品質を確保する上で重要な業務である。しかし、一般の発注者の監理業務の内容や役割の重要性についての認識は十分とは言い難い。一方、発注者が施工段階において監理者に期待するサービスは、幅広い広がりを持ちつつある。建築生産における監理の役割の調査	
委員構成 (委員名 (所属))	秋山哲一 (東洋大), 天野 禎藏 (日建設計), 板井 克真 (多田建設), 江口 禎, 大井 清嗣 (日本設計), 大森 文彦 (大森法律事務所), 戀塚 弘 (戀塚弘設計事務所), 塚越 修 (鹿島), 平野 吉信 (国総研), 星川 晃二郎 (汎建築研究所), 松家 克 (ARX建築研究所), 松本 光平 (明海大学)	
設置 WG (WG 名 : 目的)		
2004 年度予算	70000円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	2004/05/15 7名 2004/07/19 9名 2004/09/25 7名 2004/11/18 6名 2005/01/18 7名 2005/03/02 5名
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) 多様な工事監理の役割とその限界についてこれまで議論を重ねてきた。2004 年度末までにこれまでの議論を小委員会の成果物としてとりまとめる予定である。また、その成果物を資料集として3月9日にワークショップを開催した。</p> <p>委員会 HP アドレス :</p>
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係) 2005 年 3 月にこれまでの成果をもとにワークショップを開催するし 2005 年度の建築学会大会の研究協議会でこれまでの成果と今後の活動計画を公表する。</p>

その他評価すべき 事項	
----------------	--